

令和5年度 高島小学校グランドデザイン

その1：北小樽の3校（高島小、手宮中央小、北陵中）で連携して子どもを育む

自信と誇り

本校は明治17年に開校した歴史ある学校です。平成25年に開校130周年を迎えたのを機に祝津小学校との統合を果たし現在の教育目標を定めました。同年、後志初の「ユネスコ・スクール」の認定を受け、「ユネスコ」の理想を実現するための教育も進めてきました。豊かな自然環境や文化遺産を活かした授業も本校の自慢です。

令和元年からは、北陵中学校・手宮中央小学校と共に小中一貫教育を推進しています。ここに学ぶ児童が「自信と誇り」を胸に小樽の未来を創る人として、たくましく生き抜く力を身につけられるよう、学校づくりを進めます。

その2：信頼される学校づくりとは・・・「5つの基本」

- ① 国や道、小樽市が目指す方向性をしっかりと踏まえた教育活動を行う学校
- ② 小中連携が図られ、9年間の義務教育に一貫性がある学校
- ③ 児童と教職員の信頼関係の上に、思いやりに満ちた誰もが安心できる学校
- ④ 保護者にとって学校での子どもの様子がよくわかり、いつでも相談できる学校
- ⑤ 教職員が指導の専門性を高め、組織的な指導を重ねる学校

児童のための
学校であること

その3：本校で学ぶ児童が身につけるべき力とは・・・「3つの柱」

15の春をみんなで考える

知の柱

すすんで学ぶ子

「正しく聞く力」
「よく考える力」
「伝え合う力」

- ・ 学びの基礎基本となる「正しく聞く」「よく考える」「伝え合う」力を高める授業の工夫改善
- ・ 「学ぶ意欲」を高める手立て
⇒誰もが楽しく・わかる授業づくり、学びたくなる授業の仕掛け 等

徳の柱

仲よく助け合う子

素直さ
思いやり
優しさ

- ・ 全ての学校教育活動を通して、互いに思いやりをもち、尊重し合う豊かな人間性を育成する。

体の柱

ねばり強く、やりとげる子

強い心とからだ（やりぬく力）
自己管理能力

- ・ 友だちと働くこと、遊ぶことを通じて、強い（諦めない）こころと強いからだを育成する。
- ・ 生活習慣、運動習慣、健康・安全、食育等に関する自己管理能力を身に付けさせる。

「知・徳・体」のつながりを意識した高島小の教育

その4：学校経営の3つの方針・・・「3つの大切」が息づく学校

- ① 人を大切にする学校（ユネスコスクール～H25年度より）
- ② 学びと育ちを大切にする学校（小中一環教育推進地区、学園制～R2年度より）
- ③ 地域を大切にする学校（コミュニティスクール導入 令和3年度より）

その5：学校図書館が子どもの“学びたい”を応援

『全ての子どもに読書の楽しさを～生きる力を育む読書環境作り～』

「小樽市子どもの読書活動推進計画(R1年～)」に沿った図書館運営を行います。

- ①読書センター ②学習センター ③情報センター の3機能の整備を進める。



学校経営の全体構想

小樽市立高島小学校

公教育の目的・目標

・日本国憲法 ・教育基本法 ・学校教育法 ・小学校学習指導要領 ・小樽市教育推進計画 ・その他教育関連法規

児童の実態

○素直で優しく、意欲的に最後までやり抜く児童
△各学年における学力の基礎基本の未定着
△正しく聞く・読む力とよく考える力の低下
△言葉と書いて伝える力の低下
△家庭学習習慣の未定着
△スマホ等の利用時間の増加

保護者・地域の願い

○豊かな人間性の醸成
○社会性の涵養
○地域とのつながり
○学力向上

校訓
強く、正しく、仲良く

令和5年度の学校経営の重点

15の春をみんなで考える

学校経営課題

○幼小・小中連携の充実
・小1フロブレム、中1ギャップの解消
・学力の二極化、不登校児童防止
○小中一貫教育の推進
・「目ざす子ども像」を9年間で育成
・学園制加配事業の推進
○学校運営協議会の推進
・社会に開かれた教育課程
○特別な支援を必要とする児童への対応
○児童と向き合う時間の確保
○教職員の働き方改革の推進
○個別最適・協働的な学びの実現

1. 教育目標

ゆたかに学び ひとみかがやく たかしまの子 (平成25年4月1日制定)

2. 目ざす子ども像

よく考え、すすんで学ぶ子 よさを活かし、仲よく助け合う子 ねばり強く、最後までやりとげる子

3. 児童に身につけさせたい 「11のSKILL」

主体的に学ぶ力を高める

- ①正しい姿勢で学習することができる
- ②正しい言葉づかいをすることができる
- ③人の意見を聞き、自分の考えを大切にすることができる
- ④自分の考えを伝え合うことができる

コミュニケーション能力を育成し 社会性を高める

- ①気持ちのよい挨拶をすることができる
- ②マナー・ルールを大切にすることができる
- ③自分や相手を大切にすることができる
- ④誰とでも話し合うことができる

集団としての自治能力を高める

- ①時間を守ることができる
- ②安全を考え行動することができる
- ③あきらめずに努力することができる

4. 教職員の「4つのはたらきかけ」

- ①児童一人一人に丁寧に目を向けた生徒指導及び学習指導の充実
・児童一人一人に丁寧に目を向け、教育的愛情にあふれた関わりをもつ。・生徒指導の三機能を生かした指導を全職員で日々積み重ねる。
⇒「自己決定の場」「自己存在感を感じる場・機会」「共感的人間関係の育成」
- ②児童一人一人が生き生きと参加し、ユニバーサルデザインを意識したみんながわかる授業実践の充実
・課題意識をもって主体的に学びたくなる授業の工夫。(仕掛けづくり) ・対話的に学ぶ場面(交流)の意図的・計画的な設定。
・わかる、そして活用する力に進化・深化(深い学び)させる授業づくり。・個別最適な学びにするためのデータに基づいた具体的な方策の構築
- ③9年間の子どもの学び・成長を見据えた小中一貫教育の充実
・義務教育9年間の教育課程の編成や指導方法の工夫改善。・小学校高学年における教科担任制を一層の充実
- ④分掌業務の自立と充実～学級担任同様の熱意とチャレンジ精神をもつ
・分掌の「洞察力」「データ分析力」「創造力」「企画・運営力」「チャレンジ精神」+「子どもと一緒に楽しむ遊び心」の活性化

5. 主な実践

1. 学力向上

- ①各種調査、検査結果の分析と授業改善
- ②教師の授業力の向上(校内研修の充実等)
- ③個別指導の充実(習熟度別・TT授業等)
- ④理科教育の充実
- ⑤外国語活動・外国語の授業の充実
- ⑥放課後学習(二コニコ教室)の活用の工夫
- ⑦表現分野の指導の充実
- ⑧キャリア教育の充実
- ⑨授業におけるICT機器の効果的な活用
- ⑩学校図書館と授業の積極的な連携
- ⑪朝の帯時間「たからじまタイム」の充実
- ⑫授業力向上に向けて研修機会の充実
- ⑬小中の接続に責任を持つ指導

2. 特別支援教育の充実

- ①合理的配慮に基づく支援の充実
- ②校内支援委員会の機能向上

3. 家庭学習の充実

- ①小中一貫した家庭学習の指導
- ②小樽市のルール「おたるスマート7」の指導
- ③「樽っ子サポート」を活用した学び方指導

1. 生徒指導の充実

- ①組織的な生徒指導の徹底と情報の共有化
- ②「11のSKILL」を育む学級経営・教科経営
- ③月別生徒指導計画と実施

2. 道徳教育の充実

- ①道徳の授業の充実
- ②規範意識の向上
- ③ふるさと教育の推進

3. いじめ問題、不登校等への対応

- ①自尊意識を高める学級経営・教科経営
- ②データを活用した教育相談
- ③SCや関係機関等との連携
- ④不登校児童の学習保障

4. 読書活動の推進

- ①朝読書の充実と「家読」の啓発
- ②開かれた学校図書館の運営
- ③学校司書、小中図書委員会、関係機関との連携

5. 児童会活動の活性化

- ①学級活動を基盤とした児童会活動の充実
- ②ユネスコスクールの特性を活かした活動
- ③児童のアイディアを生かした地域貢献活動

1. 体力向上

- ①各種調査等の結果の分析・検証による授業改善
- ②体力向上改善プランによる年間を通じた体力向上
- ③休み時間(遊び)を活用した基礎体力づくり

2. 命の教育の充実

- ①防災教育の推進
- ②安全教育の徹底
- ③健康教育の推進
- ④SOSを発信できる力の育成

3. 児童の健康の保持増進等

- ①感染症対策の徹底
- ②子どもが身を守るために正しく行動する力の育成

4. 生活習慣の改善

- ①食育指導の工夫
 - ②スマホやゲーム等の使用と学習の指導等
 - ③生活習慣スケジュール表等の活用と自己管理能力の育成
- ※高島1スマート1(ONE)の指導

5. 社会につながる人間性の涵養

- ①時間を守り、場を清め、礼を正す指導